



古志原小学校だより

令和6年度No.16

えがおいっぱい

1月14日

(文責 校長 小林 敏朗)

あけましておめでとうございます

旧年中は本校の教育活動にご理解・ご協力、そして多大なるご支援をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。今年も古志原っ子一人一人の成長をしっかりと促し、支えていきたいと考えています。今年は「巳年」「乙巳(きのとみ)」です。乙巳の年は「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年と考えられています。こどもたちを真ん中にして一人一人の力を伸ばしていく学校づくりを目指していきます。今年も変わりませず、よろしくお願いします。

3学期始業式の話から…

1月8日(水)から3学期が始まりました。8日の朝、始業式では次のような話をしました。

新年になりました。新年のあいさつをしましょう。

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

今朝、みんなが登校してきたときに元気そうな顔が見られて安心しました。冬休みは元気に過ごしましたか？ 今年巳年(みどし)です。巳、ヘビのごとく、脱皮を繰り返しながら成長していく1年にしてほしいと思います。

さて、今日から3学期が始まります。2学期の終業式で、2学期にみんなが伸びたところとして「聴くこと」の話をしたことを覚えていますか？ 今日とても上手に聞いてくれていますね。とてもうれしいです。そこで3学期は「聴くこと」に加えて「話すこと」それも「話す言葉」について考えて生活してほしいと思います。

谷川俊太郎さんの詩で「ひとつのことば」というのがあります。紹介します。

私は、言葉について次のように考えています。

○言葉にはよいエネルギーと悪いエネルギーがあります。

よい言葉、例えば「がんばって」という励ましの言葉には人を元気にする力があります。逆に悪い言葉には人を嫌な気持ちにさせるマイナスのエネルギーがあります。

○言葉には、話す人の心の様子が鏡のように映し出されます。

美しい言葉を使うと自分の心も美しくなり、正しい言葉を使っていると正しい人になれます。そして、あたたかい言葉を使っていると優しい人になれます。一つ一つの言葉が私たちの心をつくります。

○言葉は取り返しがつかないということです。

言葉は一度口から出てしまうと元に戻せません。何気なく言ってしまっ、後から後悔すること「あんなこと言わなきゃよかった～」ということあるでしょう。

言葉は難しいけれど、私たちの生活に、なくてはならないもの。人と人をつなぐ大事な道具です。みなさんは、自分が言われてうれしい言葉があるでしょう。例えば「ありがとう」「大丈夫？」「ナイス」「すごいね」「がんばったね」「一緒にやろう」などでしょう。「ありがとう」は世界で一番美しい言葉だそうです。こういう言葉がお互いに交わしたら、学校がもっと楽しくなりますね。

3学期は1年間のまとめの学期です。そして、次の学年の準備の学期です。

1年生にとっては、2年生のゼロ学期

2年生にとっては、3年生のゼロ学期

3年生にとっては、4年生のゼロ学期

4年生にとっては、高学年の仲間入り・5年生のゼロ学期

5年生にとっては、最高学年・6年生のゼロ学期

6年生にとっては、中学校生活に向けてのゼロ学期

先生たちは、みんなのことを応援します。3学期しっかりとがんばりましょう。

ひとつのことば
谷川俊太郎

ひ	ひ	や	き	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	ひ	
と	と	さ	れ	と	と	と	と	と	と	と	と	
つ	つ	し	い	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	
の	の	い	な	の	の	の	の	の	の	の	の	ひ
こ	こ	こ	こ	心	こ	こ	こ	こ	こ	こ	こ	と
と	と	と	と	を	と	と	と	と	と	と	と	つ
ば	ば	ば	ば	も	ば	ば	ば	ば	ば	ば	ば	の
を	を	は	は	っ	は	は	は	は	は	は	は	こ
				て								と
				い	そ	泣	楽	心	頭	な	け	谷
				る	れ	か	し	が	が	か	ん	川
				れ	ぞ	さ	く	痛	む	が	か	俊
				い	れ	笑	む	り	り	り	り	太
				心	に	い						郎
				心								

こどもたちには「3学期は0（ゼロ）学期」「言葉」について話をしました。「0学期」については、3学期は1年間のまとめであると同時に4月からの新学年に向けての準備の学期であることを話しました。「言葉」については、1，2学期を通じてこどもたちが発する言葉でどうかなと思うところもあり、話をしました。もちろん「ありがとう」や「助かったよ」「一緒にやろう」というような素敵な言葉がたくさん聞こえてくる一方、相手を傷つけたり、不快にしたりするような言葉、もしかすると翻意ではなくてもつい使ってしまうトラブルにつながるなど、いろいろな場面がありました。3学期は1年間のまとめたり、自分自身の成長を感じたりする学期です。自分ががんばったことや継続して取り組んだことなどを振り返り、自分自身の成長やがんばりなどについて言語化する機会が多い学期です。また学校行事でも感謝の気持ちや思いを伝えることが多く、言語化したり表現したりする機会も数多くあります。こういう3学期に自分が使っている言葉、言葉遣いなどを意識しながら生活してほしいという思いを込めて話をしました。この言葉については、学校生活の場面だけではなくなかなか徹底しないところもあります。ご家庭や地域においても言葉について、折に触れてこどもたちにお話をさせていただくと喜びます。よろしくお願いします。



1/8(水) 始業式の様子です。こどもたちは静かに集中してお話を聞きました。また、式そのものもですが、教室からの行き帰りでも私語はありませんでした。こういうことがしっかりとできる空気が学校全体に流れていました。

（話は変わりますが…）1月7日（火）午前中に3学期に向けた職員会議を行いました。その職員会議では「古志原っ子に身につけてほしい力PART2」を行いました。夏休みに教職員で話し合い（これがPART1です。）、それをもとに2学期の教育活動を行ってきました。今回は、夏休みに話し合った成果物（模造紙）をもとに各学年部で2学期を振り返るとともに3学期を通して身につけさせたい力や更に伸ばしたい力などについて話し合いました。各学年とも学年全体で意識して取り組むこと、各学級で力を入れることなどいろいろとあります。こどもたち一人一人にしっかりと力をつけていく3学期にしたいと思っています。



3学期スタートの様子から…



1/8(水) 1年4組の様子です。3学期のスタートですので、新しく当番活動の分担を決めていました。各学級とも、当番活動や係活動それぞれに分担を決め、自分たちで生活できる力を養っていきます。



1/9(木) 3年2組の算数の様子です。この時間では、三角形について操作活動を取り入れたり、ペアで話し合ったり教え合ったりしながら学習に取り組んでいました。どの学級でも3学期の学習が始まっています。



1/8(水) 5年生の学年集会の様子です。今学期は、5年生にとって「6年生を送る会」の企画、運営など、会を創ることが大きな役割の一つです。どんな会を創るのか、今から楽しみです。5年生に期待大！です。



1/9(木) 6年生の学年集会の様子です。6年生にとっては大きな節目「小学校卒業」を迎えます。古志原小学校6年生というチームとしてもですし、一人一人の人生にとって大きな意味のある節目を創ってほしいと思っています。